

いちご栽培管理 (R7.8.)

(有) 丸 富

7月には梅雨明けが早く、急に猛暑になったため、根傷みによる奇形葉、高温による薬害、害虫の発生など、苗の生育が悪かった。また、遠日点の影響で徒長傾向になった。ウドン病の発生も一部で品種によって多かった。

発根促進

苗づくりは根づくりというように、根(細根、吸収根)が大切。こまめに水管理や肥培管理を行う。

発根促進に**天地の恵み 1,000 倍**と**G バランス DF 5,000 倍**を2週間毎に灌注する。

花芽分化促進

近年は高温で花芽分化しにくい。特に遠日点の新月過ぎは花芽分化が遅れる。定植前1ヶ月くらいから出来る限り夜温が下がって花芽分化が誘導するよう、苗が冷える工夫をする。

C/N比向上に**サンミネーラ 3,000 倍(時を越えた贈り物 1,000 倍)**と**酸カル 1,000 倍**を散布する。

芽なし株対策

定植前に長期間肥料切れを起こすと、芽なし株の発生が多くなる。芽なし株の発生は病害で枯れるのと同様に減収になるので、苗の肥培管理で対策を行う。

芽なし株対策に**天地の恵み 500 倍**と**サンミネーラ 5,000 倍**を定植20日前から5日毎に散水・灌注する。

病害対策

遠日点では栄養生長傾向になるので、ウドン病やかび病など病害が多く発生する。硝酸態窒素が多いと、病害の発生が多くなる。カッ病など罹病株は出来る限り早く撤去する。健全な株だけを残す。

窒素消化促進に**時を越えた贈り物 1,000 倍**と**酸カル 2,000 倍**と**サンミネーラ 10,000**を防除時に混用する。

害虫対策

害虫の発生は苗床周辺の環境変化(除草、草刈り、防除)によることが多いので、注意して観察を行う。

害虫の繁殖抑制に**バイオアクトTS 2,000~3,000 倍**を防除時に混用する。

灌水時、散水時に**バイオアクトTS 50~100 cc/10a**を混用して、害虫の飛び込みに対応する。

追肥(液肥)

施用量は肥料、土質、樹勢、環境などによって加減する。

プロ液肥 0.2~0.3 kg/10a

時を越えた贈り物(又は、天地の恵み) 100~200 cc/10a

サンミネーラ 50~100 cc/10a

バイオアクトTS 70~100 cc/10a

5~7日毎に灌注、散水する場合

※状況に応じて加減する

※サンミネーラの代わりに

シカアップ 100~200 cc、天然ミネラル 200~300 cc、海藻のエキス 50~100 g でもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富

TEL (0942) 65-0123

FAX0942-65-1091 (24時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)